

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38344
事業名	公立夜間中学関係費					
評価担当課	所属名	教) 学校教育部 教育推進課				
	課長名	石田 建志	担当者名	柴垣 孝治	電話番号	011-211-3851
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	2022年4月に公立夜間中学を開校する			
		長期	義務教育未修了者や形式的卒業者等の十分な教育を受けられなかった方々が学びを得ることで、自己実現や社会的自立を実現する。			
	取組内容	様々な事情により、学校に行かないまま中学を卒業した方や小・中学校での就学機会が得られなかった方などに対し、「学び直しの場」を提供するため、公立夜間中学を設置する。				
	実施結果	令和2年度に策定した「札幌市公立夜間中学設置基本計画」に基づき、開校準備を進めた。具体的には施設改修、教育目標の策定、教育課程の編成、生徒募集、教材教具の準備、校章、校歌の整理などを進めた。				
事業実施における工夫点	北海道で初めての公立夜間中学であることから認知度を上げることを重視し、様々な取組の都度積極的なプレスリリース等を行い、マスメディアに取り上げてもらえるよう工夫を行った。					
対象者	義務教育未修了者や形式的卒業者等	開始	平成31年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	教育機会確保法、学校教育法など					
他都市の状況	○平成28年度の教育機会確保法の成立以降、順次設置が進んでいる状況。 ○令和4年度時点で、15都道府県34市区に40校の公立夜間中学が設置(文科省は全都道府県、政令市に最低1校の方針を掲げている)。 ○このほか9の自治体において、公立夜間中学の設置に向けて検討が進められている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	3,050	46,000	46,446	26,063	
うち特定財源	0	4,000	4,000	3,365	
人工	2.1	4.5	4.5	14.0	
人件費	15,120	32,400	32,400	100,800	
計(事業費+人件費)	18,170	78,400	78,846	126,863	
事業費の内訳	令和3年度決算	施設改修:21,262千円 教材、教具などの備品、消耗品の購入:19,025千円 その他:6,159千円			
	令和4年度予算	学校配当経費:5,615千円 光熱水費:7,215千円 夜間中学給食実施経費:4,275千円 時間講師報酬:1,638千円 その他:7,320千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	公立夜間中学の開設			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	予定通り、令和4年4月に札幌市立星友館中学校を開校した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	入学対象は中学校を卒業していないまたは中学校で十分に学ぶことができなかった学齢期を過ぎた方としており、学校規模は1学年1学級としている。開校時点で66名が入学しており、事業規模は適正と考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	設置形態を単独校としたことにより、校長や事務職員、養護教諭の配置ができており、公立夜間中学の学校運営に適した人員構成を実現できている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	多様な学習ニーズを持つ方が在籍しているが、授業を常時6展開し、授業の内容も細分化するとともに少人数での授業形態とすることとしており、対象者のニーズに応えるものと認識。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	基本計画自体が有識者の意見を多く反映したものであり、対象者に寄り添った学校づくりができたものと認識。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 在籍する生徒の状態によって、学校の対応を適宜変えていくことが必要な学校であり、引き続きその考えに基づき取組を進める。			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 令和4年度予算積算の想定生徒数よりも増えていることから、生徒数等実情にあった予算とする必要がある。		見直し効果額	0